

ベストサービスアワード通信

April 2012

第8回ベストサービス賞 ふれあいライフ原 賞金30万円

見た目と食感の改善で食欲アップ!!

社会福祉法人 三篠会 第8回ベストサービスアワード



【取り組み内容】

嚥下の悪い方にはムース食を提供していますが、食材を全て一緒にミキサーにかけゲル化剤で固めるため、何を食べているか分からないといった課題がありました。

ムース食の方にも「見た目が普通食と同じようなものを提供したい」「よりおいしいものを提供したい」という思いから、「クックチル」という調理システムを採用し、提供前日にムース食を作り、当日に盛り付けを行うという、「作ること」と「盛り付け」のどちらにも力を入れることが出来るよう取り組みました。

【喜びのコメント】

「日々利用者により良いものを提供したい」「嚥下機能の低下したムース食の方にも、普通食の方と同じ様なものを提供したい」という思いで取り組んだ結果、ベストサービス賞を頂く事ができ、とても嬉しく思います。

しかし、緒に就いたばかりです。これに満足せず、誰でも・いつでも・どこでもできるムース食のレシピの完成を目指し、原調理部一丸となり、更なる努力をし、完成させていきたいと思えます。

このレポート発表の準備のために、たくさんの方々に協力をいただき、受賞する事ができました。本当にありがとうございました。

ふれあいライフ原 調理部
安村時芳、河本麻衣子、泊野有紀子、山岡恵美子、原調理部

グッドサービス賞 白木の郷 賞金10万円

“夢”が叶った～自立への道のり～



【喜びのコメント】

グッドサービス賞を頂きありがとうございます。日中活動を併設している老健に業務委託をしてもらい、働く事で対価を報酬として得る喜びを実感してもらおう企画を立て、実行していくまでの過程で、ある利用者の方が意欲を出されどんどん変わってこられ、自立されていきました。その方のお陰で頂いた賞だと感謝してします。これからも老健での日中活動を充実させて、利用者さんの新しい面を引き出せるよう支援していきたいと思ひます。

障害者支援施設 白木の郷

牛尾加代子、中川亮介

グッドサービス賞 喜生園 賞金10万円

よろこびトラベル



【喜びのコメント】

本当に行きたい所に、行きたい方と行く旅行は出来ないかという思いから、今回の「よろこびトラベル」の取り組みが始まりました。私たちの取り組みがこのような形で評価して頂けた事をとても嬉しく思っています。

これからも笑顔あふれる、喜びあふれる喜生園であり続けるよう、職員一同頑張っていきたいと思ひます。ありがとうございました。

養護老人ホーム 喜生園

竹橋俊吾、柏木麻美、古永昌之

評価委員特別賞 賞金10万円

ソレイユ川崎

利用者参加型の避難訓練



【喜びのコメント】

この度は評価委員特別賞を頂き、ありがとうございました。今回、私たちの行った取り組みが、この様な形で評価して頂いた事を大変嬉しく思います。

今後も非常時に備えて、利用者の皆様が安心して安全に暮らせるよう、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。今回の取り組み、発表にご協力いただいた全ての方に感謝致します。

重症児・者福祉医療施設 ソレイユ川崎

岩橋愛、早乙女瑞、菊池亜希子

最終選考会ノミネートレポート 賞金1万円



【「自分に出来る！」をかなえたい！

～毎日をもっと有意義に～】

ありがとうございます。これからも利用者の皆様に、充実した生活を送って頂けるよう、一人一人に適した支援を行っていききたいと思います。

特別養護老人ホーム ひうな荘 合原悠里、尾崎奈都美、第3特養部



【思い出がいっぱい！！

出航、ひうな荘船上家族会 in 銀河クルーズ】

思いがけず発表が出来た事に感謝致します。今までは拝聴する側でしたが、発表する事の難しさを学び、どの施設もすばらしい発表だったと思います。大賞を取る事は出来なかったけれど、老健施設全体での取り組みを発表できた事を、心から嬉しく思いました。

老人保健施設 ひうな荘

山崎美津枝、有田香澄、小玉美保子



【静から動へ】

この度、甲田デイでの取り組みを三篠会の皆様に聴いて頂き、ありがたく思っています。スポットライトを浴びての発表…、久々のドキドキでした。今後は、スタンプラリー以外の活動にも挑戦し、また甲田デイがノミネートされるよう頑張ります。ありがとうございました。

通所介護事業所 甲田

水戸典子、赤嶺洋



【感染マニュアルを見直し、感染拡大防止に努めよう！】

この度は最終選考会ノミネートレポートに選出して頂きありがとうございました。これまで取り組んで来た事を選考会で発表でき嬉しく思います。時間との勝負とも言える取り組みで、委員はもちろん、他スタッフのお陰です。ありがとうございました。

重症児・者福祉医療施設 鈴が峰

山本英慈、植田加代子、感染対策委員会、他

3回ベストサービスアワード



【癒しやあたたかみのある空間をつくり環境の改善と活性化を図る】

今回はこのような賞を頂き、ありがとうございました。利用者様と職員が共に生き生きと過ごせる様な環境づくりについて取り組んで参りました。今後も利用者様・ご家族に喜んで頂けるような、より良い施設づくりに向けて、職員一同日々努力をしていきたいと思っております。

特別養護老人ホーム 鈴が峰

矢部喜美子



【はじめての第一歩】

今回初めてチャレンジレポートに挑戦し、ノミネートされた事を大変嬉しく思いますが、あくまで通過点で、今後も看護師のレベルアップと、利用者が安心して快適な生活を送れるように、スタッフ全員で磨きをかけていきたいと思っておりました。運営や関わった方全員に感謝しています。

仁方 医務室 中村秀人、羽多正行、山田由香、上田絵美、井口真紀



【「とことん向き合って、あきらめない支援」】

この度は、発表の場を頂きありがとうございます。私たちの「とことん向き合い、あきらめない支援」はまだまだ継続中です。心が折れそうな時もありますが、決して「あきらめない」という意欲を持てる事ができました。他施設の発表も聴いて、新たな視野で見つめ返す事も出来ました。

障がい者支援施設 みずさわ

鵜城恭子、千野希、佐鳥友貴



【前向きに「生きる」ための看取り介護】

この度私達が行ってきた、前向きに「生きる」ための見取り介護が、最終選考会で発表できた事を嬉しく思い、今後のケアに関する自信にもなりました。私達はこの受賞をきっかけに、今まで以上利用者の方達との一日一日の関わりを大切にしていきたいと思っておりました。

特別養護老人ホーム 神楽坂

田中里美、内藤郁子



【おいしい! たのしい! おとうばん】

日常の活動の取り組みとして、ささいな事ですが、子ども達が意欲的に取り組む事での効果は大きいと実感しました。また、レポートにまとめる事で、よりこれからの保育にどう活かしていこうかと考えるきっかけにもなりました。ありがとうございました。

いづみ保育園

古本愛、落合美幸

【推進事務局より】

本年もベストサービスアワードにご参加いただきありがとうございます。昨年私達は、東日本大震災の経験から、書類上のマニュアルや対策だけでは何も担保されないことを学びました。一方で、現場での活きた取り組みが、こうしたマニュアルなどに魂を吹き込むことも知りました。このたび提出された各レポートも「形式上や制度上は整えているが、本当に中身はあるのか？」という問いに対して、様々なアプローチを試みたものが多かったように思います。

現在の社会福祉は、変化する社会情勢と多様な価値観（及びその発信）を背景にして、トレンドや教科書的論調が揺らぎやすい時代と言えます。しかし、だからこそ、基本的なことや原点と言えることに対して、改めてその本質について考え、一度出した結論に対しても、事情の変化などを踏まえた検証を行い「続ける」ことで、支援者としての価値が発揮されるものと信じています。

毎年強調していることではありますが、このベストサービスアワードを目標に支援の工夫をしているわけではありません。しかし、この取り組みが、ご利用者支援の一つの手法になっていれば幸いです。

三篠会 常務理事 酒井亮介

ベストサービスアワードの流れ

業務改善やサービス向上などの取り組みをまとめたレポートを提出



1次選考（施設内選考）12月末日



2次選考（評価委員選考）1月下旬



最終選考会（レポート発表&表彰）

ベストサービス賞 30万円（1組）

グッドサービス賞 10万円（2組）

評価委員特別賞 10万円（1組）

最終選考会ノミレトレポート

1万円（13組）

社会福祉法人 三篠会
ベストサービスアワード推進事務局
平成24年4月発行